

非暴力直接行動

NO 128

10, SEP, '82

戦争抵抗者インター日本部(WRI) 大阪市あべの区2-12-2 発行 ウリ大阪(水田あさ)

日本人であることに責任をとろうとした人たち
東アジア反日武装戦線に対する死刑を許せるか



ハルハラ大集会って何やのん

席会あいさつ代り、漫才師かけあい。台本

みよこです。

ふうでーす。

なあ、ふうさん、ふうさんと漫才さんの、これで三回目やねえ。

それも、今日は本格的な大会場の舞台やでエ。ハリキランこ...

そやけど... 万才なんてやってエエンやろか、うちじビルわア。

なんでー

そやかって、反日やろ、武装やろ、死刑やろー。うちらの出る幕やない、いう気いせえへんか。

▲ そこや。みんな尻込みして、ものも

ら、おそろしいゆう空気を打破ぶるん

「東アジア反日武装戦線」って一体何やの

れぞれの声でしゃべる、わからんこと

うのが、今日の集会の趣旨やんか。

● せんでも、万才なんか軽薄な、ひっ

この一玄われへんやろか。

▲ あの壁に大きくぶらさがってる紙に何とかいたある。見てみい

● 四つにわけたるでエ

▲ 「東アジア反日武装戦線」に連帯しー

● 連帯ナアー



やあ、いっちゃん。へたに口出した
ん、ゆうて、大っぴらに、そ
は、きいたらええし...」



▲ 二、あるいは、その異同を超えて支持支援し、――

支援なあ

▲ 三、または、その死刑重刑攻撃に反対し――

● 死刑はイヤヤ、アカンでエ

▲ 四、その他、野次馬でもなんでも、とにかく胸心をよせる者

● あ、それ、それ、うちは、その野次馬でもなんでも、や、

▲ せやろ、ちやあんとあんだも、この会の一員にはいつてゐる。引

つこめいわれるはずがあれへん。

● せやけど、「連帯する」と「野次馬でもなんでも」とは、えら

いちがいやで。

▲ そうなんや、「ちがう」からこそ大連合なんや。

● それが、今日の集会の持ちようや。

● どういうことかいナ。

▲ 今までやったら、まず「東アジア反日武装戦線に連帯し、そし

て支持支援にする人らがあつま、て集会をつくり、よびかける、い

うかつ、こつやわなあ。

● せしたら、うちなんが、よおいかんわなア。

▲ せやろ。今日のハラハラ大集会のいちばんのポイントは、野次

馬もいっしや、いうその大連合にあるねん。

● そうかい。うち内心では、ほんまに野次馬でもええんやうかと

ひげ目をかんにじってんけど――

▲ 野次馬が出てこんようになつたしまいやで。そんな集会はお

もうないで。

運動する人にとって、野次馬が味方になるか、なれへんかが、

運動の勝負どころというもんや。

● 教からしたら、野次馬の方がずっと多いもんや。

▲ その野次馬のわたしらが出てくるというのは、カッキ的なこ

となんや。

● カッキ的？

▲ そうや、うちら、今まで、反日とかなんとかいつても、何

も知らんかったやないの。

● ほんまや。うちらとは別世界の人と思てたわ。

▲ ところが、こんどこの集会をき、かけに、ちよつと変わ、

てきたんちやう。

● そうや、知らんもん同士が、万才でなにしゃべろうか、ゆ

うて、毎日みたいにふうさんの家で話してゐるうちに――

▲ ほんまに、「反日」とこのさわぎやないで。もう「十日」

は考えてるでエ。

● なに、それ、しゃれか。しらけるナア

▲ それが、いつのまにか、知らんうちに、リクツめきで、だ

んだん、友だちみたいに親しい気がしてきて、ふしぎやわ。

● はじめは、ウワァー、武装やて、フッソーやわーと思てた

のに――

▲ なんやてエ。シャレか。あんだもいうやんか。

● せやねん。別世界の人やと思てた人が、三日目、五日目、

十日目と、近づいてきて、このごろじゃあ、片岡さん、黒川

さん、なんて、肩でもたたくようなかんじや――

▲ えらい変りようや

● しかし、こんなに無節操に変わってええもんやろが
▲ それでこそ野次馬や。無節操という節操をちやあんと持ってん
のが野次馬やで！

● あんた長生きするでー

▲ さあ、そろそろ時間や。今日のあつまり一体とおなるか。



従来の集会に見られない解放的な空間をつつたハラハラ大集会

ハラハラ大集会

闘う人を身近にひき寄せた普通の人のひと

社会タイムス 9/12

【大阪】「日本人であることに責任をどうとじた人たち」東アジア反日武装戦線に対する死刑判決を許せるか

九月五日、大阪の三和会館で行われた「ハラハラ大集会」には、参加者之主催者のそれぞれの思いが、相互に燃え合ふ熱場をつくりだした。この日参加したすべての人が自分の中にあった他人感を捨て、過激派と呼ばれる人たちが東アジア反日武装戦線の人たちの主張した「反日」の意味をかわしめたとはいえない。

「さっさとクビにのるか」というのは

● うちハラハラするわあー
▲ というわけで、さあさあ、ハラハラ大集会のはじまりはじまりー。

★ 当日本島ではアドリブがいっぱいはいつて、8分位ですむのが15分も、の熱戦？！。みんなにきいてもらいたかった！（へびう）

どチガイ主権者名「の東アジア反日武装戦線に連帯しめあるいは異同をこえて支持支持しめまたは死刑重刑攻撃に反対しめその他野次馬でもなんでもともかく闘心を容せるものみんなの大連合」をきめたとき、もつてにこの日の集会の内容を決定していたようだ。会場は定刻にはギッシリとうすまり、西に白いのが見える年配の人から子連れのお母さんまでいろいろで、政治集会や支援集会には見られない、ゆつたりした空気がかたまたましている。

さんどうさんの「かけ合ひ漫才」をやつてしまふという、このしよっぱなの気イの抜き方で、この集会が「獄中戦士を尊厳せよ」的なものでないのがわかる。フログラムは、コンサートー一分間アビールスライドーシンボシウム一分間アビールコンサートと進められていった。

「どこへ行つても公安につけ回されている」という花柳幻舟の死ぬことと警察一監獄の三つともをわいとあらへん。あすと入つてはじめて「なんやねん、それで」はないしてん」と思順るようになって

つたという獄中体験談はなかなか面白く、とくに女の人の参加者はスカーフとしたにちがいない。シンボシウムでは主権者名にある四つの立場の人たちからそれぞれ意見が出され、会場からも、演説をもとめるといったかたちで行われた。

互いのちがいでけず議論して自分の立場を強化するといふ、日本の左翼の悲しき姿勢はこの場で認められない。討論の中では、死刑制度廃止の立場から闘う人と反日武装戦線に連帯する中の立場の人の「国家との対決抜きに死刑

制度の廃止はあり得ない。議会の幻想だ」と意見がかわされたがこれには、会場の中から、シンボを進める側から「一方を認めよう」といふ論議では連合はありえない。人がやってくるのが自分のじゃましていることにならんかっから、人のことをかくいわんとて」といふ指摘があつて、この立場の人も「へたな言い方を素直に認めろ。会場からは「私の反目はない」と経済侵略企業の商品を買はせぬといふつかの身連はここからの行動にポイントを置かして進言した人。「みんながやれる運動をこの日は理想だ」といふいろいろな意見があつた。

このシンボウ入では、のからい立場の人はこの場ではつきりと線引くものがなく、一人の人間の中に四つの立場のトータルな面をもっているといふことが明らかになった。とりくみの過程の中でハネウーたちの「反目」を戦線への認識が深まるにつれそうなつていったようだ。

この「野次馬でもなんでも」の立場とはいへ、正義感あふれた野次馬が、マスコミの偏った報道にまわされず、「裏手」の人たちの「反目」をめざした生き方を知り、彼らがいま、権力によって殺されようとしていることを知つたとき、そこにはもう、ある一つの立場だけではありえない。このことを「この集会を通して闘う人々をきよめて見ることができるようになった」といふ言葉で「野次馬でも……」の立場の人は語つた。

一分間アビールの中で、市場グループの無きといふのあいさつにはききまづ「日帝の……同志は」といふ「党派論」あいさつがされると会場からひそかに笑いがきこえるが、そういった「硬派」の人たちを認め、つづいていく闘争が会場にはあふれていた。



▼ ハラハラ大集会
おかげで予想以上の大盛況で終わった。もんじゅゆヒリング祖止斗争で教習から帰るや否や、これにかかりつきりみないなワ

▼ それにしても、まず何よりもお礼を言わねばならぬのは、賛助人カンパ44万四千余(予定の倍)の80%近くは、ウリニユースなどを通じてのもの。30万をこえ、もう大きな赤字の心配がなくなつたと思つたとき、ふいに胸がつまつてきて、近くの小公園へとめけて、夜更に「あいみん

▼ いまこの号と併行して、ハラハラニユース5号(終刊号)をつくつてゐる。それの巻頭目録に「沈黙は打破された。いわれない怖れはとび散つた。そして

▼ だがこの聖域がどんなに本当のものであろうとも、そのまま放つておけば、いつのまにか闘争の空気がそれをつくつていく。戦力にみえない操作(?)の中で、もとの本意になることは自明のことだ。

▼ さてここでいさえず、「支援連ニユース」の読者になる……ということをして、ぜひ、今この際おねがいしたい。そして毎月末あつまつて、資料などをよみ読める人達者の会といつた形のもの、10月からはじめたい。会費年間千三百円。集る場所

▼ またこれを機に、大森勝久さんの裁判への関心。そしてぼくらの士からもつと近づくことを積極的にたてたい。

▼ 9.5日会場のハラハラ并当のあいじがつたこと。いまふいに、その時がよみがえつてきた。ああ。はる々(こう)